

平成 30 年 1 月 22 日

平成 29 年度産業建設常任委員会行政視察報告書

- | | | | | |
|---|-------|--|---|--------------------------------|
| 1 | 日 程 | 平成 29 年 10 月 12 日（木）～10 月 13 日（金） | | |
| 2 | 視 察 先 | 埼玉県東松山市
人口 89,956 人（4 月 1 日現在） 面積 65.35 km ²
埼玉県春日部市
人口 236,081 人（9 月 1 日現在） 面積 66 km ² | | |
| 3 | 視察事項 | 東松山市 起業、創業支援の取り組みと成果について
商工会議所等との連携について
春日部市 春日部フィルムコミッションについて | | |
| 4 | 視 察 者 | 委 員 | 白 川 克 広 委 員 長
保 坂 裕 一 委 員
安 田 憲 喜 委 員 | 滝 沢 茂 秋 副 委 員 長
中 野 元 栄 委 員 |
| | | 当 局 | 石 附 敏 春 商工観光課課長補佐 | |
| | | 随 行 | 石 津 敏 朗 議会事務局係長 | 計 7 名 |

東松山市

1 東松山市の概要

東松山市は、埼玉県のほぼ中央にあり東京都心から約 50 km 圏に位置し、人口 89,956 人、総面積 65.35 km²を有している。

昭和 29 年 7 月 1 日に松山町、大岡村、唐子村、高坂村、野本村の 1 町 4 村が合併し、12 番目の市として市制を施行した。

近年、恵まれた交通条件により都市化が進展し、さらなる発展を遂げている。

現在は、首都圏の拡大により東京近郊の住宅都市としての役割を担うとともに、日本スリーデーマーチの開催市として花と緑に包まれた調和ある都市像を形成している。

2 起業、創業支援の取り組みと成果について

(1) 創業支援事業の概要

ア 東松山市創業支援事業計画

平成 27 年 5 月産業競争力強化法に基づく認定を受ける。

① 創業相談窓口(創業支援事業)

創業に関心のある人のみならず、幅広く気軽に相談しやすい窓口を開設することにより、相談者の増加を図る。

② インキュベーション事業(特定創業支援事業)

平成 28 年 4 月 1 日市が所有する駅前行政スペースを活用した「東松山市創業支援センター」を開設、事務室 4 室、共同事務室(19 席)、会議室 2 室を有している。

③ 創業塾(特定創業支援事業)

商工会が実施し、創業塾修了後も起業までの相談、指導を行う。

平成 28 年度実績 全 4 回 各 3 時間 25 人受講

④ ワンストップ窓口(特定創業支援事業)

商工会に設置し、創業時の様々な課題を解決するため、経営指導員が相談対応を行う。相談者の必要に応じ、経営指導員による指導を 1 ヶ月以上の期間、4 回以上実施し、経営、財務、人材育成、販路開拓のノウハウの習得を図る。

イ 東松山市まち・ひと・しごと創生に関する協定締結(平成 28 年 6 月 28 日)

東松山市、(株)埼玉りそな銀行、東松山起業家サポート投資事業有限責任組合、合同会社東部経営力向上センターによる 4 者協定を締結、東松山での創業支援を強化する。

ウ 東松山起業家サポートファンド(平成 28 年 12 月出資)

創業期の起業は実績や資産が不足がちであり、成長可能性のある創業初期の企業の資金等の支援を行うことで、成長を促進し、地域経済の活性化を図る。市では地域振興の観点から出損金として 500 万円出資し、分配金は受けない。

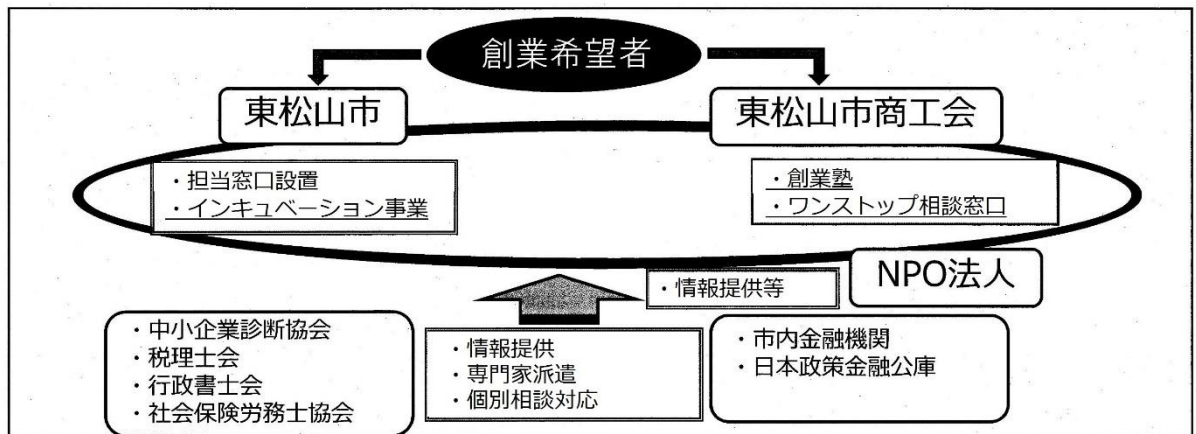
(2) 空き店舗対策事業の概要

ア 中心市街地内の空き店舗に出店する場合、家賃等を一定の期間補助することにより開店を誘導、飲食店、飲食料品小売業に限定した補助。

イ 市が店舗を借り、開業希望者に貸し出し、実際に営業経験を積んでもらうための場としてチャレンジショップを提供。

ウ 商店街等の取り組む事業への支援として、金銭補助、職員の派遣を実施。

3 計画の概要



4 所感

行政と商工会とが協働する形で成り立っている創業支援事業に関し、市の担当者に連携によるメリットをどのように感じているか尋ねたところ、「行政には、ハードの支援と情報の発信力がある。商工会には、多分野にわたる事業ノウハウがある。この強みをお互いに生かすことで、まちが活性化されていくのではないか。」との回答を得た。

加茂市においても、現在増えつつある空き店舗の問題や創業希望者への支援などにおいて、これらの強みを生かす取り組みは可能ではないだろうか。

春日部市

1 春日部市の概要

春日部市は、埼玉県の東部にあり東京都心から 35 km 圏に位置し、人口 236,081 人、総面積 66 km²を有しており、平成 17 年 10 月 1 日に旧春日部市と旧庄和町の合併により新春日部市が誕生した。

古くは日光街道の粕壁宿として栄え、現在では、東西に東武野田線と国道 16 号が横断、南北には東武伊勢崎線と国道 4 号が縦断する交通の要所としてさらなる発展を遂げている。

桐たんす・桐小箱・羽子板・麦わら帽子の産地として知られ、人・自然・産業が調和した快適創造都市を目指している。

2 春日部フィルムコミッションについて

(1) 事業概要

映像を通して春日部市の魅力を PR し、市のイメージアップ、観光振興及び地域の活性化を図ることを目的として、テレビ・映画・CM など撮影の支援活動を行っている。

(2) 主な支援内容

- ア ロケに関する問い合わせや相談への対応
- イ ロケ候補地に関する情報提供
公共施設から民家まで 56 施設をホームページに掲載
- ウ ロケ地の選定、確保協力
- エ 各種許認可に関する情報提供
- オ ロケハンへの立ち合い
- カ 撮影当日の立ち合い

(3) 撮影支援時の要請事項

- ア 撮影風景や作品公開情報などを広報すること
- イ 春日部フィルムコミッションがロケ現場の撮影をすること
- ウ 作品のポスター、パンフレット、出演者のサインなどの提供をすること
- エ 時求メディアによる撮影現場の取材を受け入れること

オ 作品のクレジットに「春日部市」の名称を掲載すること

(4) 春日部フィルムコミッション事務取扱要領

撮影支援依頼書、撮影支援承認書、ロケ地物件登録票、撮影までの流れを規定化

(5) 撮影実績

平成 26 年度	相談 5 4 件	撮影 1 4 件
平成 27 年度	相談 5 5 件	撮影 7 件
平成 28 年度	相談 4 4 件	撮影 3 件
平成 29 年度	相談 3 7 件	撮影 3 件(10 月 13 日現在)

(6) 今後の課題

- ア 他自治体との差別化
- イ 教育機関の協力確保
- ウ 制作会社への誘致活動
- エ ロケ地ガイドの作成
- オ エキストラの登録制度

3 所感

フィルムコミッション事業により、対外的な認知度の強化は図れるものの、主たる目的である観光振興及び地域の活性化にはなかなか結び付かない現状が窺われた。

そもそも、ある地域の価値を見つめ、他者に認知されることで現状より利用が増加すると想像される場合には、このような事業が効果的に作用するのではないだろうか。導入にはそういった検討が前提になるのではないかと感じた。